

NOVEMBER  
MORNING



R-18  
ADULT ONLY

Fate/Grand Order, Unofficial Fanbook

R-18ADULT ONLY

Cu'Chulainn x EMIYA

Shiba Nuu

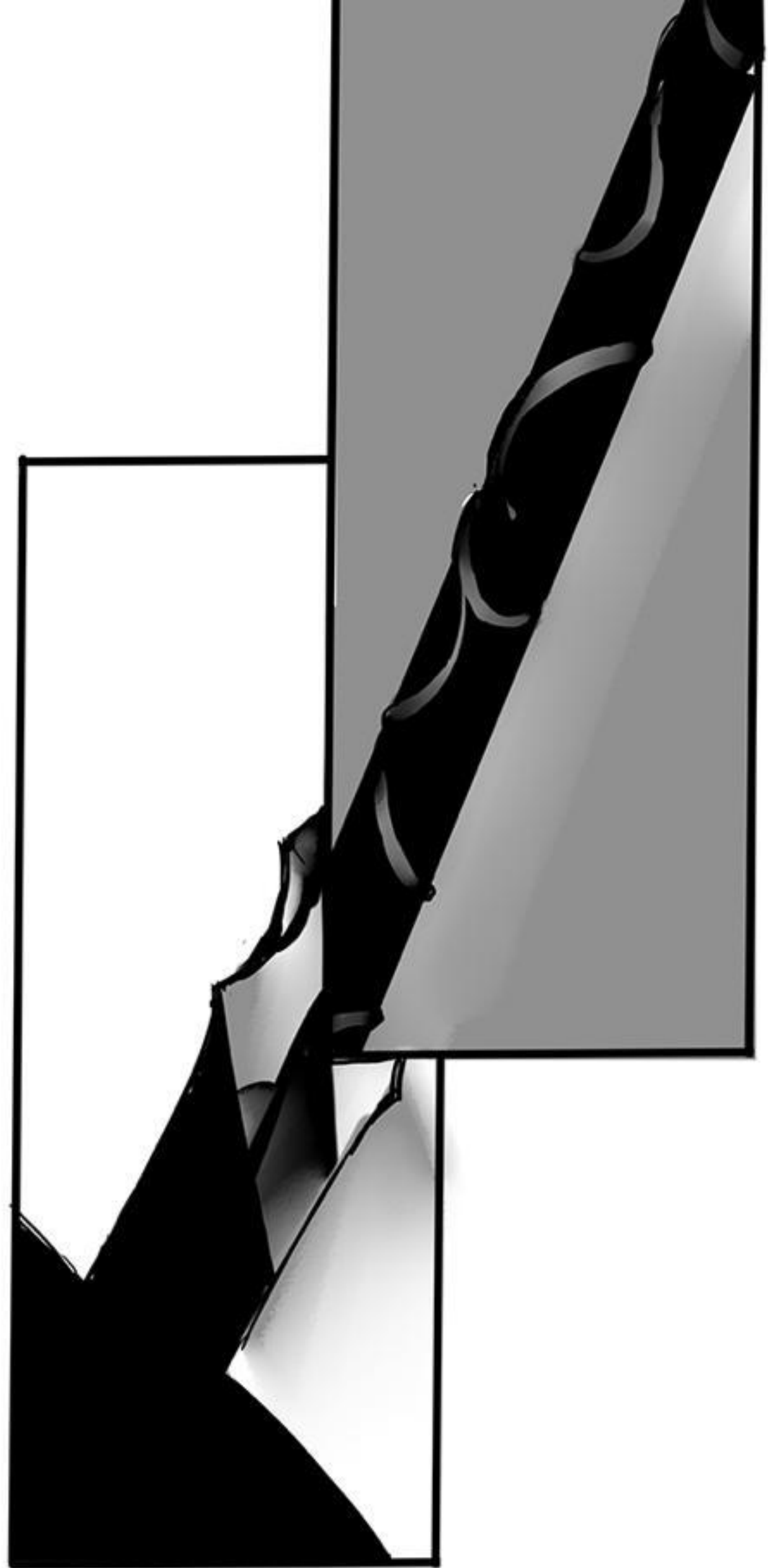


Fate/Grand Order, Unofficial Fanbook  
R-18ADULT ONLY  
Cu'Chulainn x EMIYA      Shiba Nuu

NOVEMBER  
MORNING



の良こな  
かかれあ  
?っで  
た





お前は  
これで  
満足か？

アーチャー



…って  
聞こえちや  
いねえか

こいや…  
またお前



ならなんでも  
そんな顔だよ

観測を始めますか？

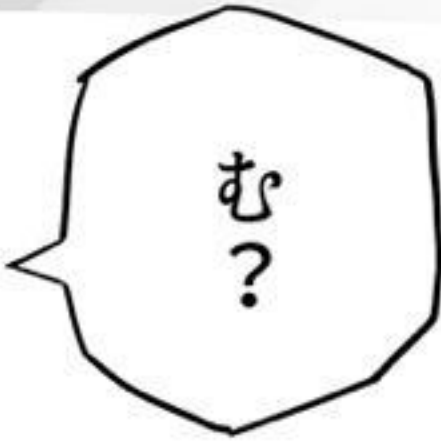
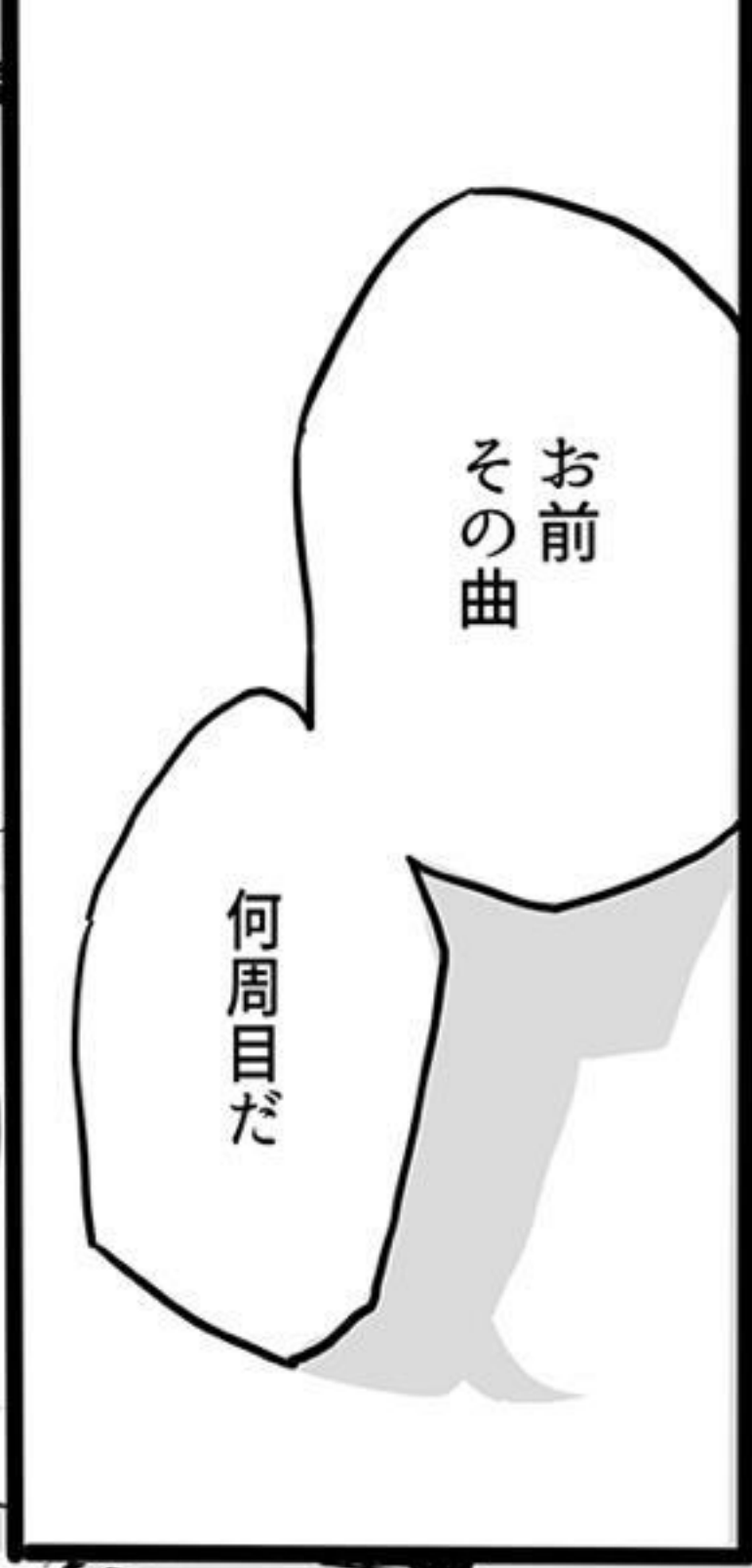
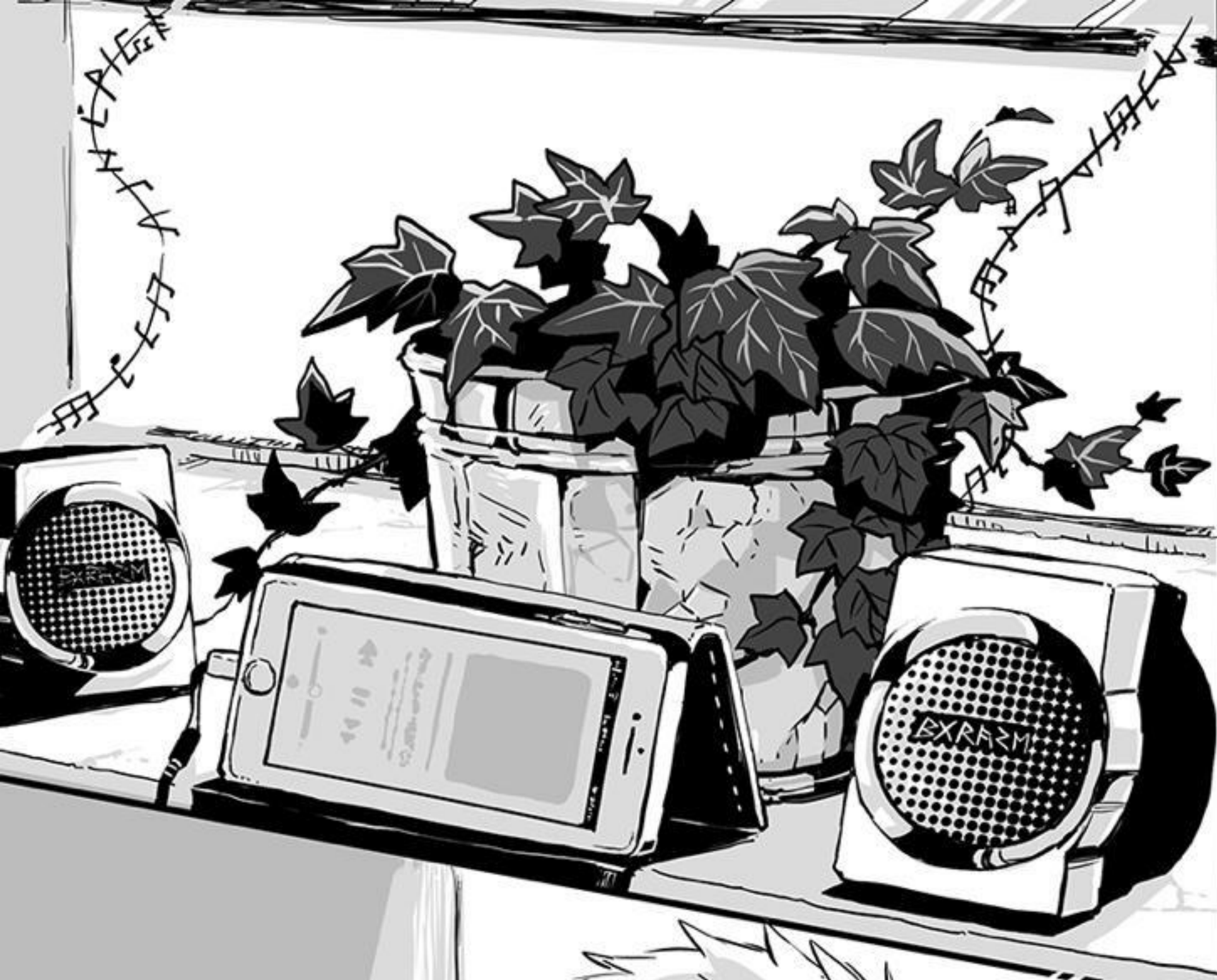
▶ YES

|| NO

⌘ SHUFFLE



●●する宇宙の哲学は  
繰り返す●●の真ん中で  
●●が重なった状態で存在してる事を  
誰も証明することが●●●●とっている







ただ  
よく飽きんな  
と思った  
だけだ

好きなのか?



すまない  
集中出来るもので

消しても  
いい

いや別に  
悪かねえよ



好きかどうかは  
こう何度も聴いていると  
正直よく解らなくな  
ったな

偶然聞いて  
気まぐれで  
購入した

だがまあ  
まだ飽きては  
いない



その本も  
随分熱心に  
読んでるな

あぁ  
借りたんだ  
興味深くてな

君も  
読んでみる...



俺の分

淹れてくれ



たわけ

茶ぐらい  
君も淹れられる  
だろう



お前のが  
イイ



ああ  
また  
この感覚か



欲求も  
五感も  
ぼんやりと  
している

ひたすらに眠い  
寝ているのか  
起きているのか  
無意識なのか  
考えているのか

今が何刻で  
何日なのか

タイトルは  
何だった？

読みかけの本  
内容は

何か  
思い返そう

何だった？

アーチャー

寝るなら  
ベッドで寝ろ  
あと服着ろ  
なんで  
裸なんだよ

見てるこっちが  
風邪引きそうだ

ああ  
なんだ

クー・フリーリン

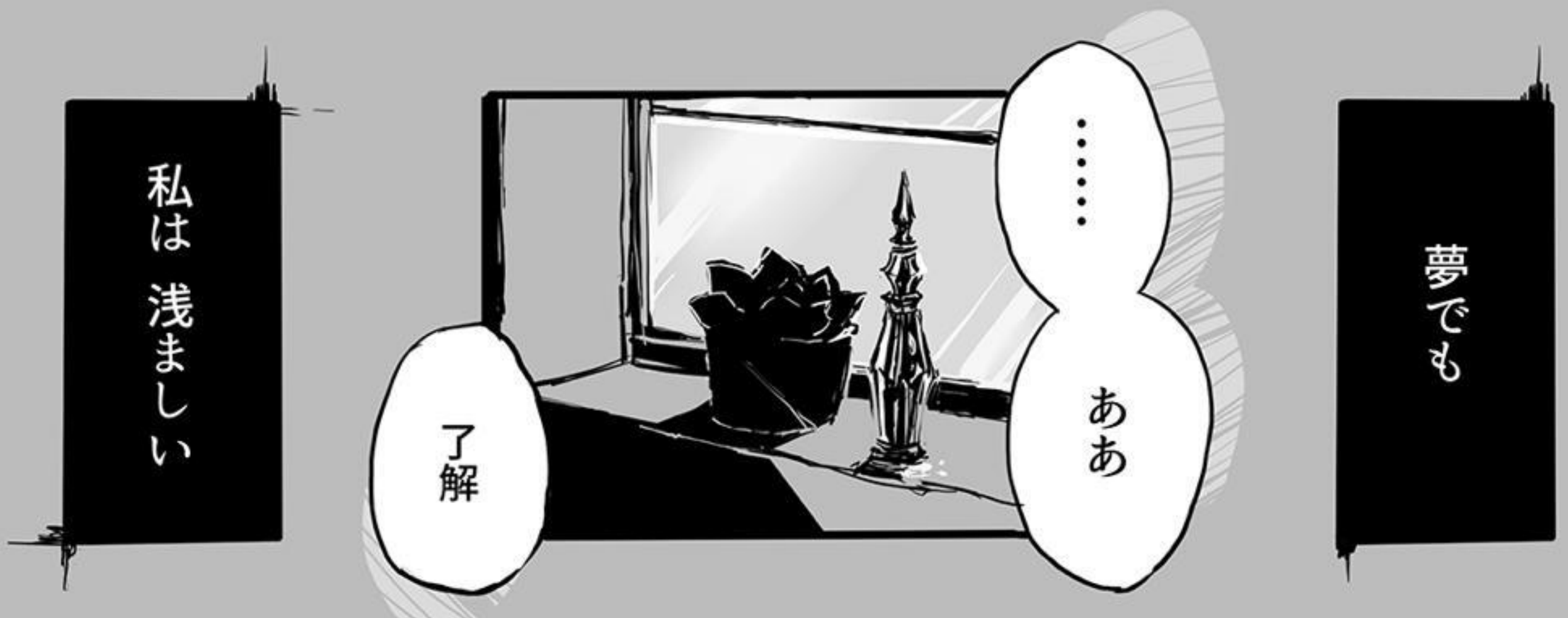
夢か



窓を  
閉めてくれ



寒い



私は浅ましい

了解

あぁ

あぁ

夢でも



まだ  
寝るなよ

アーチャー

ん...まっ  
待てくれ...  
ま

あ...あ...  
ま



もう…  
抜い…

もうあと  
少しだろ

ちゃんと息しろ

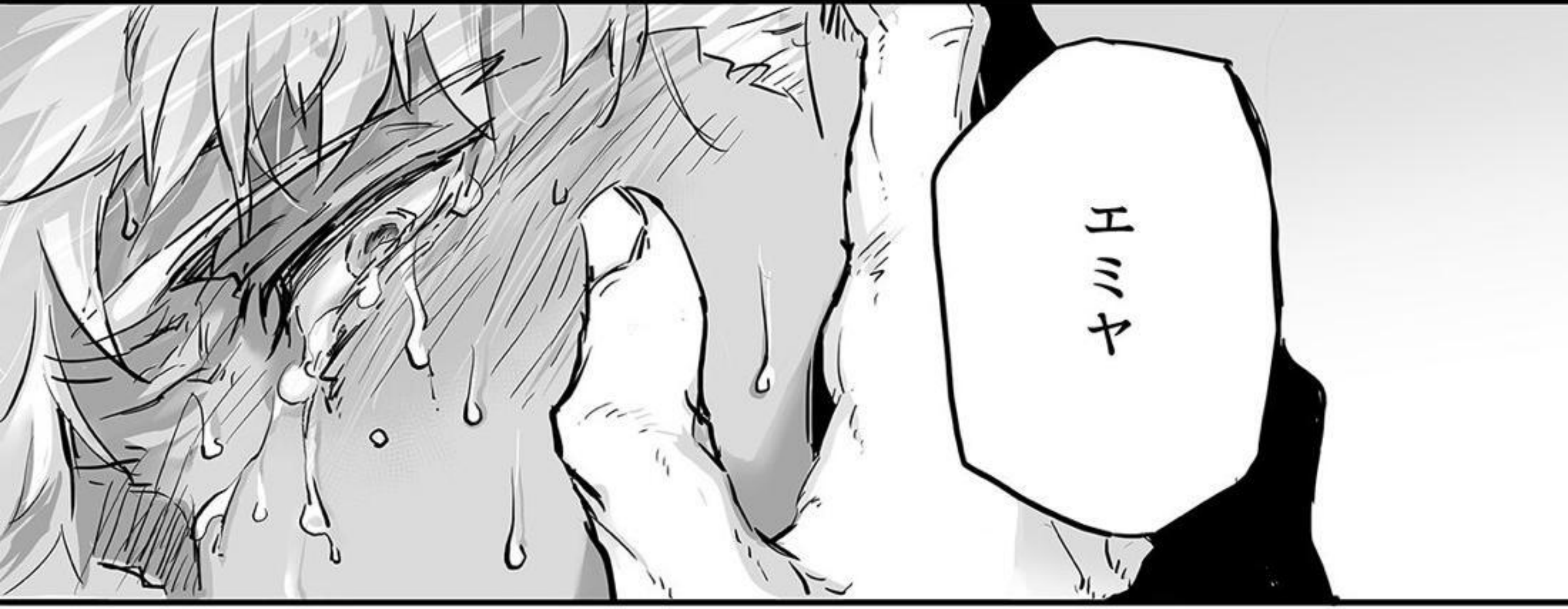
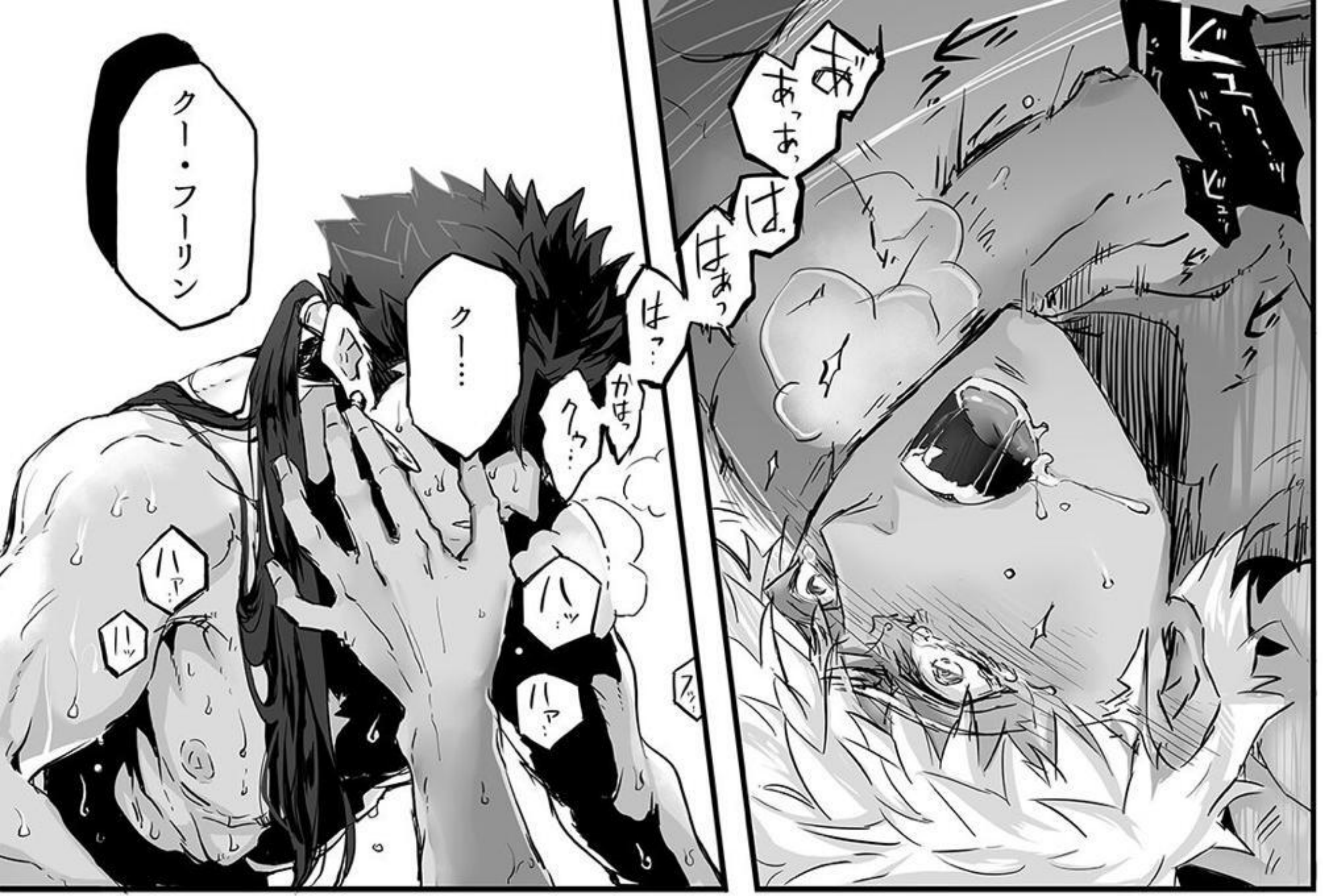
イヤだね

もう  
無理…っ!

待てっ…

抑えるな  
声出せ

たん  
たん



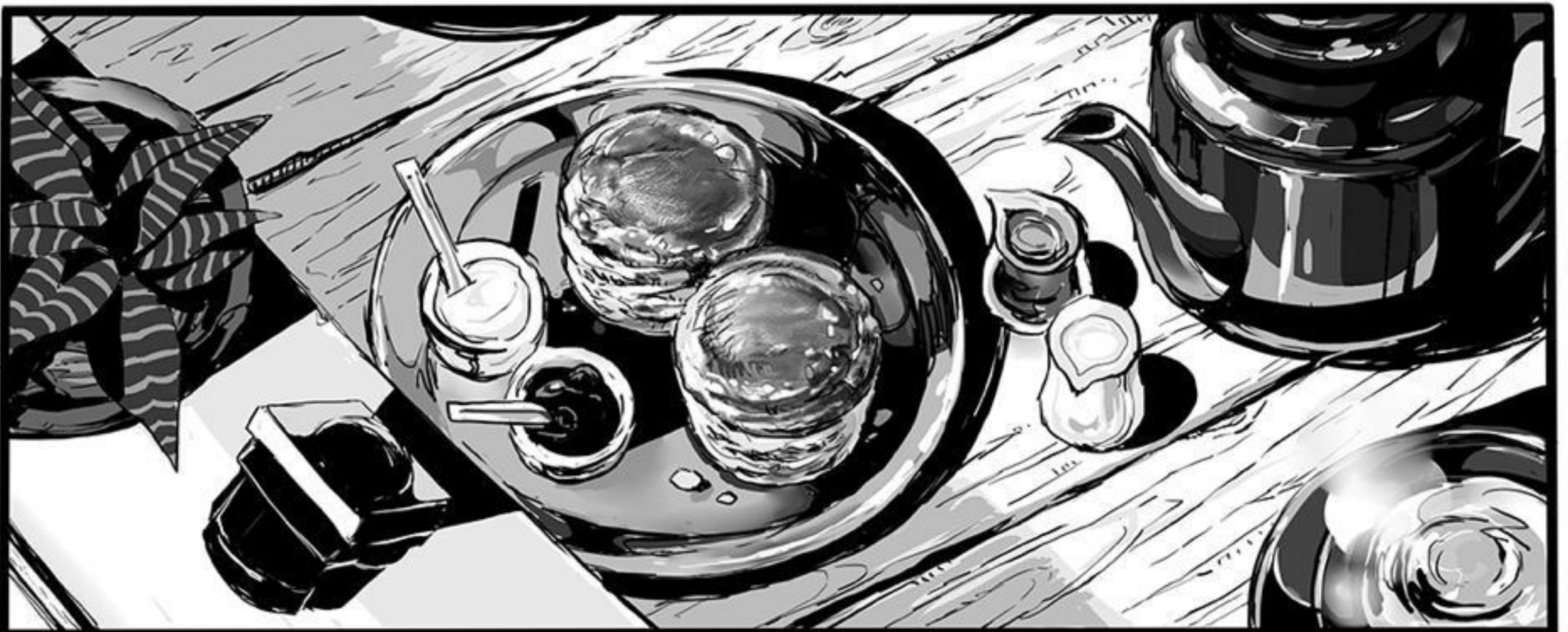


NOVEMBER  
MORNING





◀ ● ————— ▶) A MILK TEA DAY





いやお前の作るもんはホントなんでも美味しいな

この茶によく合うぜ

君に茶の良さがわかるとはな

…お前はなんでそんな捻くれてんの

照れ隠しだ

そりゃ可愛いな毎度だが腹立つ

ミルクティーには

君の好きなブランドーを大匙一杯飲む直前に落とす

少し香り付けに

茶葉で淹れるのは手順があるが

ティーバッグでも沸かし立ての湯で淹れれば多少違ってくるぞ

それなら私が居なくても

いつでも作れるだろうランサー





なんだ  
石器人も本に  
興味があるのか

：言っておくが  
漫画以外も読むぞ  
(エロ本とか)

やめておけ  
アレルギーが出ても

責任が取れん



そのセリフは  
今日で何回目  
になった？

その本



代わりに

こういうのは  
どうだ



そりゃ  
おっかねえな



はっ



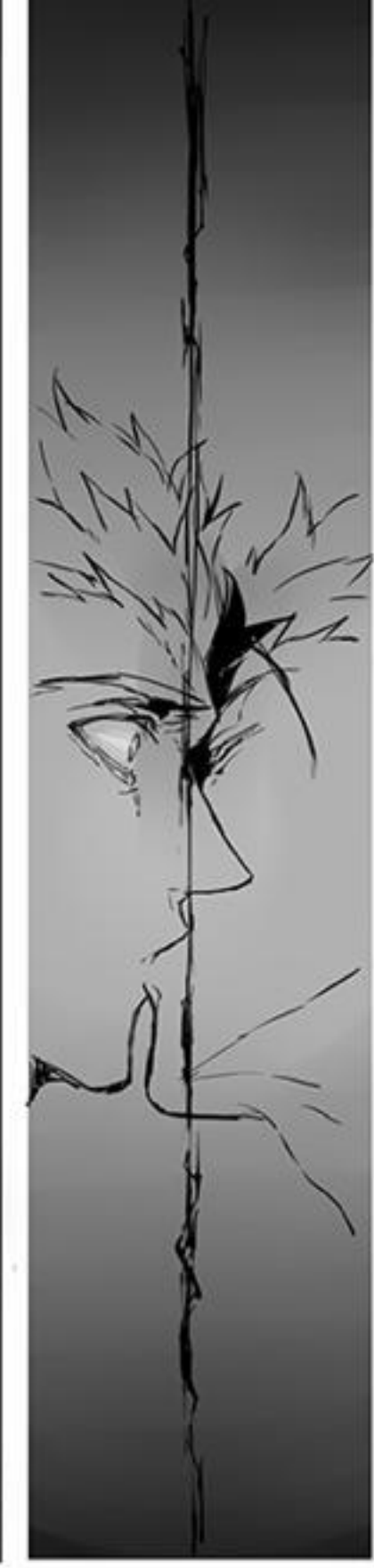
なんだ  
急に

君に脅威を与える  
こんな本からは  
私が君を  
遠ざけてしまえば  
いい

私が君を  
護ろう

それも  
守護者の  
仕事か？

：仕事の話は  
今は無しだ

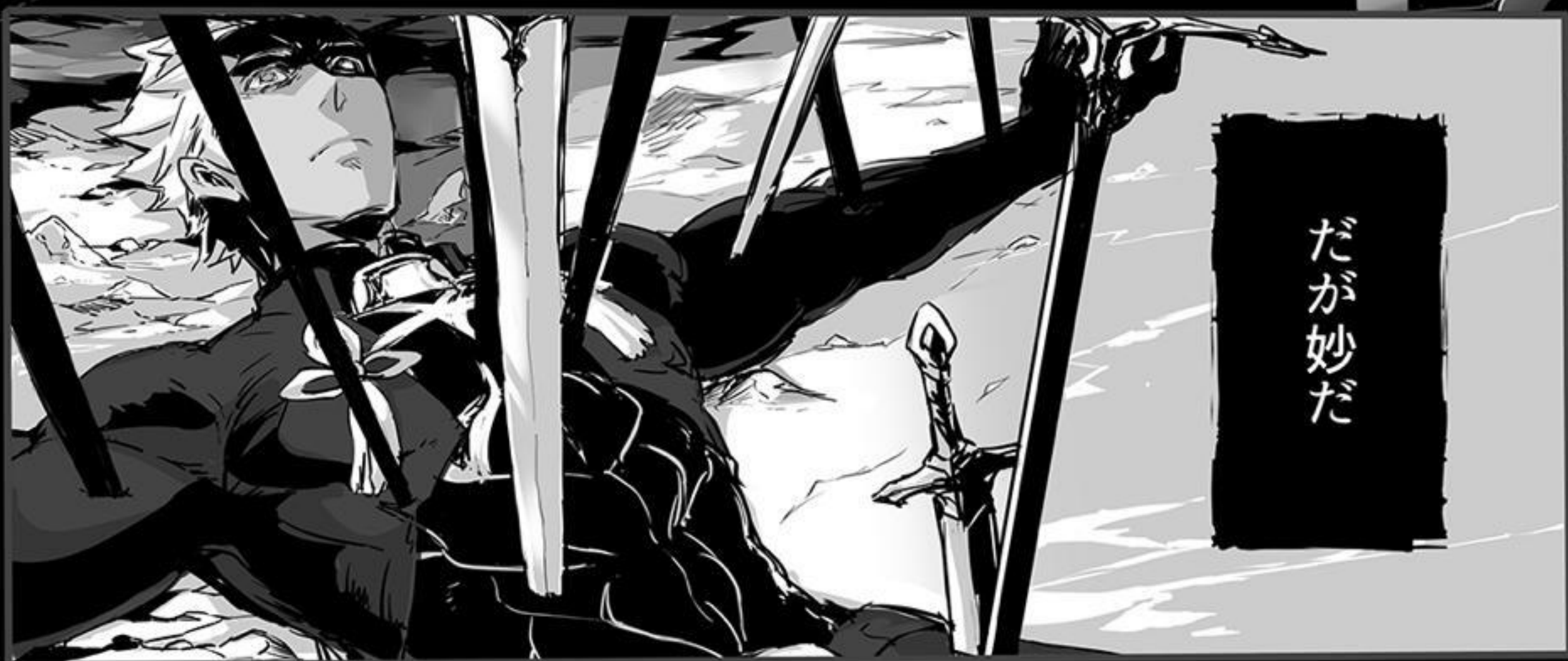


かんらかんらかんらかんらかんらかんら





ああ  
また  
この夢か



だが妙だ

霊体  
サーヴァントは  
夢を見ない

ではこれは

なんだ？

とぼけるな

余計な  
記録を

いつまで  
続けている  
つもりだ

座に必要な記録は  
戦略 スキル  
敵の情報…

守護者に  
とつての  
最小限

では  
あれは  
なんだ…

記憶は

持って  
いけない

此処は…  
あの部屋は…







やっぱ  
さっぱり  
わからん

...



マジで  
面白くねえわ  
この本



お前これ  
どこがいいの？

観測を~~め~~めますか？

▶ YES

|| NO

⌘ SHUFFLE





キヤスター

久しぶり  
ってのに

相変わらずだな  
テメエはよ



何故貴様が  
此処にいる



チッ  
しっかし  
こりや  
ダメだな

突貫にしても  
我ながら  
ヒデエ出来だ  
霊基ブレブレ  
じゃねえか

質問に答える

此処に  
何の用だ  
森の賢者



テメエが  
エミヤの

記録者か？



おいおい  
ご挨拶だな

んじゃまっ  
手短に訊くが



いや…  
「観測者」か



ちやんと  
読んでから  
返せよ

礼儀知らずが！



意味が解らんな

本  
貸しただろ

では返そう

侵入者が  
言えた義理か

たわけ

やっぱ  
不利か

お前も  
「エミヤ」なら  
教えておいて  
やろう

一つ  
俺は侵入者ではなく  
【招かれざる客】だ

二つ  
「エミヤ」が  
招きたかった奴は  
【俺】でもある

来てほしい  
と願ったのは  
テメエだ

「エミヤ」

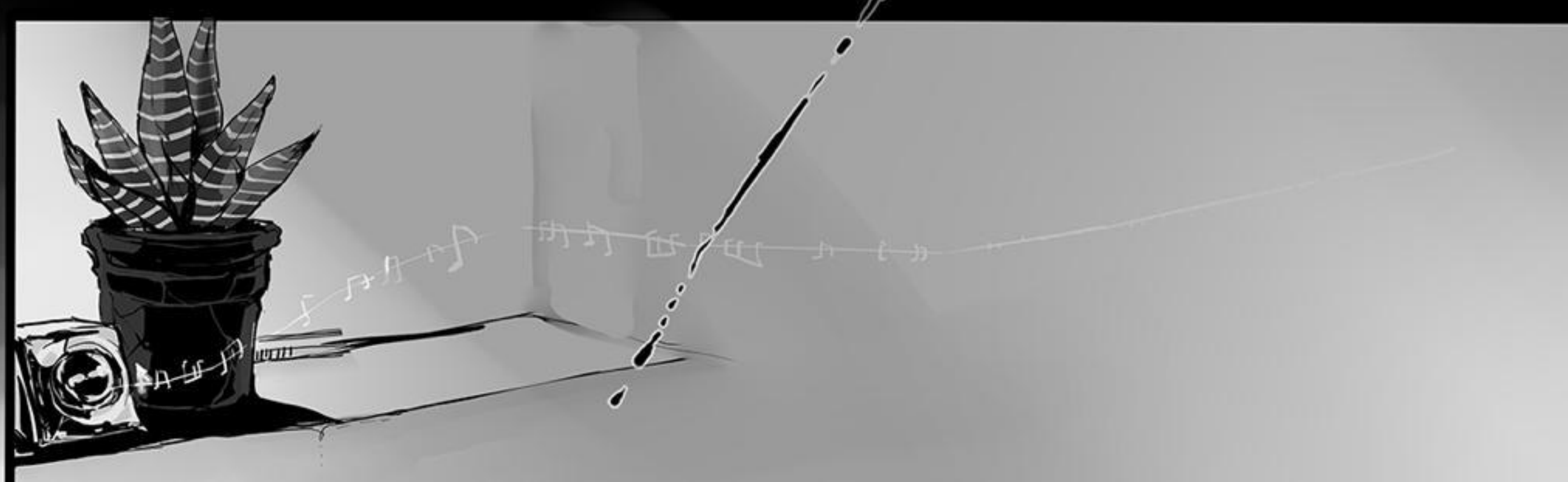
そして最後に



貸した本の  
タイトルは



“観測する宇宙に  
ついての哲学”だ





……観測する……

……宇宙



“わたしは観測者が存在させたい観測したい”

わたしが人間が望む条件が存在するに描った時空に適した宇宙”



都合の良い話だ







今はどの時点だ  
今朝の事は  
覚えて無い  
ようだが

このまま  
戻らず  
先に進むなら  
それに越した  
事はないが

……いや





据え膳  
つてやつか？

喰つちまうぞ？



つて  
そんな気に  
なるわきや  
ねえだろ  
うが

マヌケ



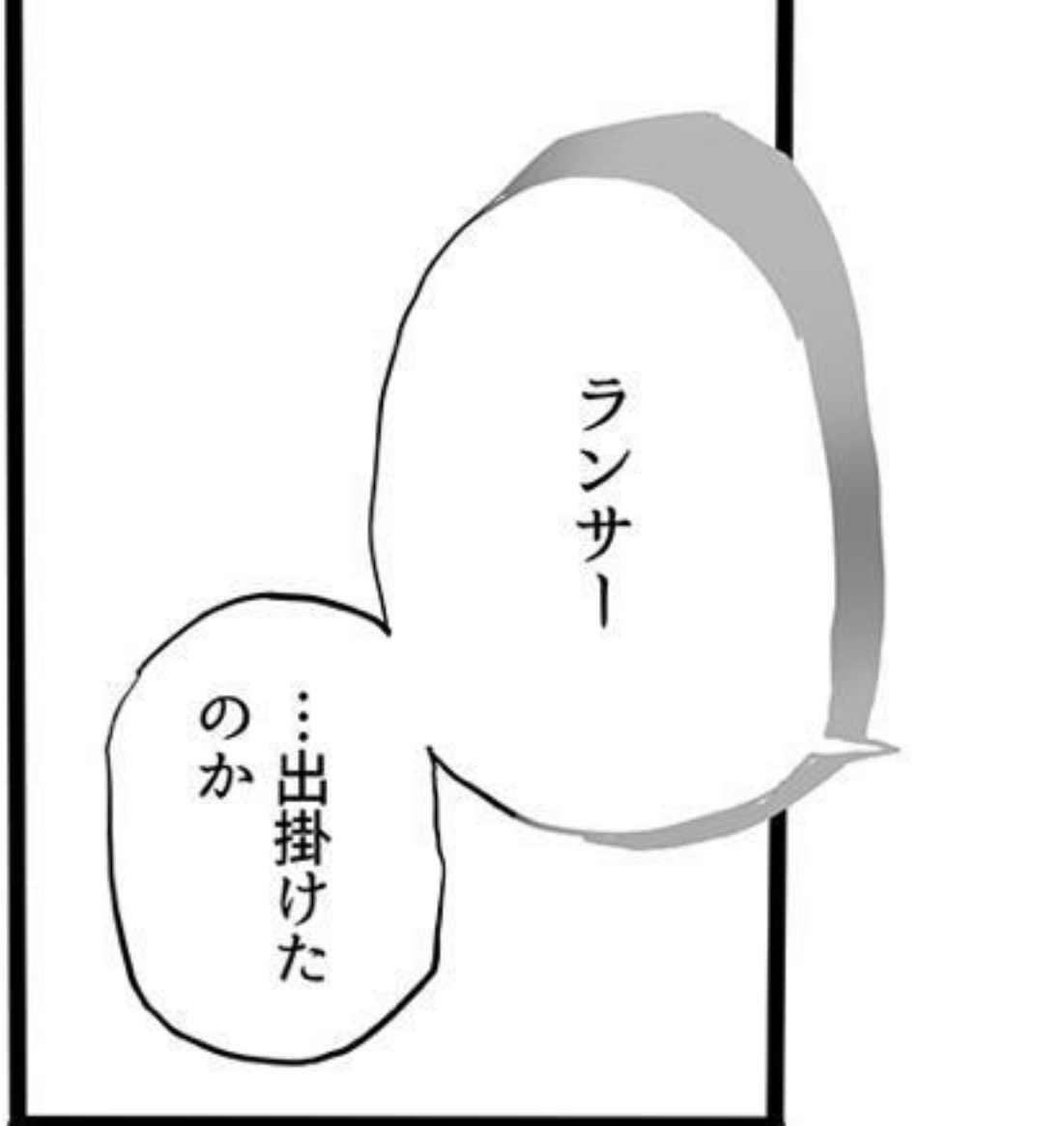
観測を続けますか？

▶ YES

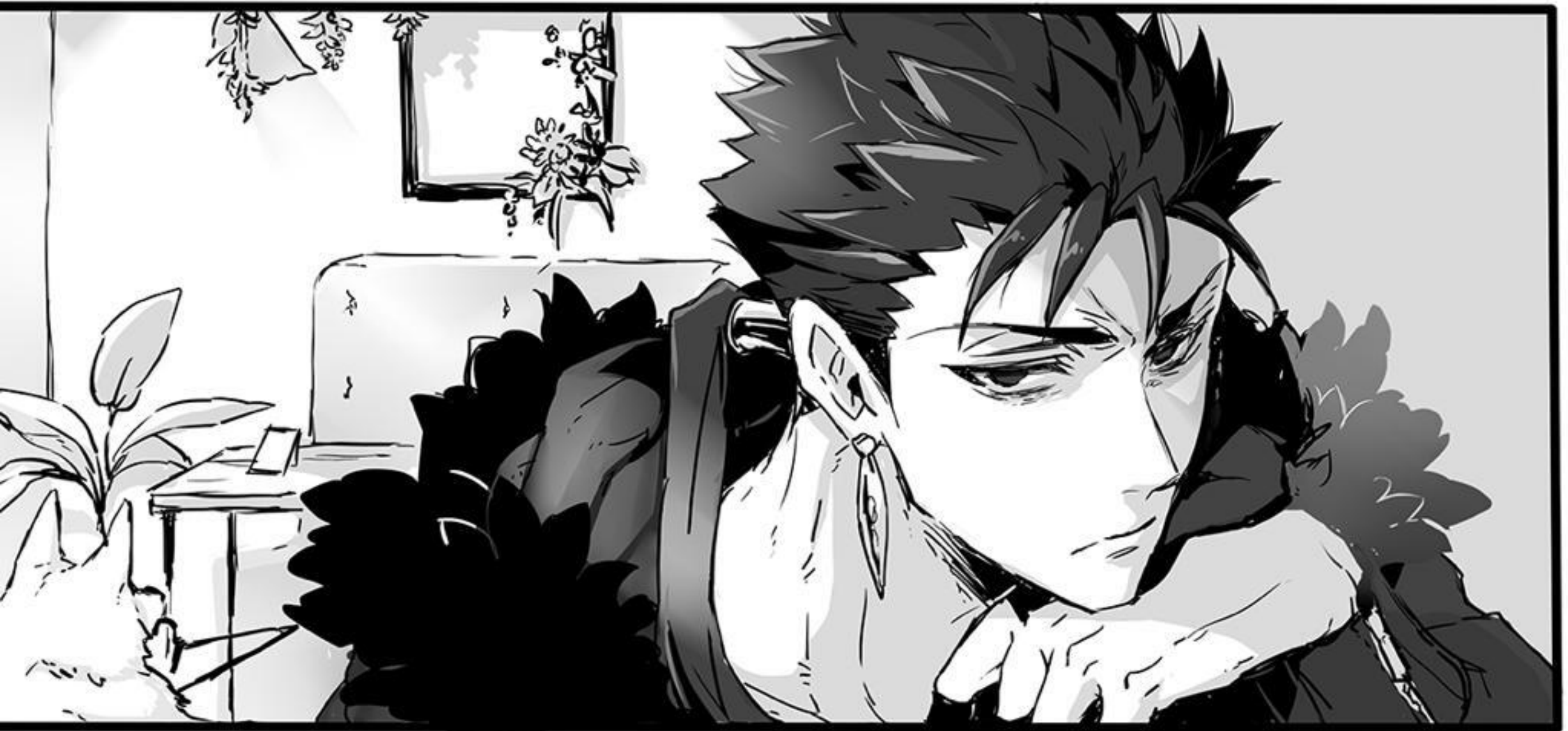
|| NO

⌘ SHUFFLE





A HERB TEA DAY







…こんな召喚だ  
普通に考えりや  
正常な方が異常だ  
何にせよアイツ側の  
問題だな

カシヤカシヤ

なんかかしら  
やれる事が  
あるかも知れねえ

たわけ

同じ轍を踏むな  
といった筈だ  
半端な干渉は  
悪化するだけだ



気休めだが  
茶あでも  
飲ませろ

持っていけ

邪魔したな



おれーん  
おれーん  
おれーん

おれーん  
おれーん





ガチャ

お前はまだあの本を  
読み終わって  
ないんだろ  
う  
エミヤ

季節が廻らずともあれから随分経った  
ちんたら読んでんじや  
ねえぞ大馬鹿野郎

！  
ランサー……っ

あ……  
……  
おか……えり……



その……なんだ……  
茶を淹れようと  
思ったんだが……

わかんねー  
から  
お前が  
淹れる  
モン

出る前に  
中身確認すりゃ  
良かったぜ！  
……あのやる  
わざと茶葉で  
渡しやがった！  
オレが……



色々と  
すまなっ  
わっ！



15 minutes after...



予定と違うが  
まあいい  
アイツの調査した  
茶なら俺も  
味見してえし

美味え  
茶が  
飲みたい

は？  
……  
……

りよっ  
了解した？

ととモ短気



巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな  
巻き戻るな

まっ

待ってくれ  
ランサー



…悪いが  
…その…

…しっ、寝室へ  
行きた…い

なんとかか  
先に進んだ  
みてえだ  
…けど

そいつあ気が  
利かなくて  
悪かった

気が変わる前に  
エスコート  
させて  
もらおうか

なんか  
変なもん入って  
たんじゃね？  
この茶





ココ  
気持ち  
のな  
わわ  
わか  
かか  
つつ  
たた

はいはい

らっ!?!  
って...おい!  
貴様何を...

そっ...  
そこばかり  
しなくて  
イイか...

あん?

ランサー

ちがっ

かわっ





意趣返したあ  
さっきまで死にそんな  
ツラしてた癖に  
なめた真似して  
くれんじゃねえか  
んじやまあ  
その心意気に免じて  
こつちも  
手加減無しで  
イカせてもらおう  
かね!

毎度君にばかり  
手間をかけさ  
せては  
申し訳ないと  
思ってたね...

こんのつ...くそが!  
いつの間になんモン  
覚えやがった!

さて  
どうした  
もんかね



キヤスの茶もダメ  
魔力供給もダメ  
んでもって寝たキリ  
今日で七日目…と

ホスン  
ホスン  
ホスン  
何？  
やっぱ  
やり過ぎた  
ってか？

いやしっかし  
コイツにも  
責任あ…る…

…何回  
繰り返しても  
お前のその  
カオだけは  
正直クチャ  
アチャー





おいマヌケ  
テメエいいかげん  
俺の淹れた茶  
無駄にし過ぎだ

冷え切っちゃまって  
今起きてても  
飲めたもんじゃ  
ねえぞ コレ



…でもまあ  
俺もいっぞや  
お前の淹れた  
モーニング珈琲

無駄に  
しちまったし

コレで  
チャラな





A COFFEE DAY

観測する宇宙とは

そもそも人間が  
観測している宇宙は  
人間が存在するに  
足る全ての条件が  
揃っている宇宙以外  
あり得ないという  
人間原理的な考え方で

思想には強弱があれど  
どちらも宇宙が在って  
生命体が偶然誕生した  
という説とは真逆で  
意志ある存在が  
在ってそれに適する  
条件の空間が出来た  
という説だ







的を射ている

強いて言え

…  
…  
…  
そうだな



3点だな  
100%中

アーチャー  
なだけに？

デカママママ



この本は…  
観測する宇宙に  
ついての哲学は

聖杯の存在と  
酷似している  
と思う



なんでも叶う  
願望機  
そんなモノが  
実在するとは

★  
サーヴァントと  
なった今でも  
理解しがたい

★  
だが願いを  
叶えたい者が  
居なければ

★  
それを  
実行するに  
値する概念を  
持たなければ

★  
聖杯として  
ただのガラクタも  
同然だ

★  
観測する  
宇宙の哲学とは  
端的に言えば

★  
つまり

★  
聖杯で言うところの願望の主  
ここでいう観測者という人間の  
得たい願望の結果が  
原初に存在したが故に

★  
カンクンヤ  
人類に適した  
宇宙が誕生した  
という事を  
唱えている

★  
で？



なんでも叶う  
願望機の聖杯

観測者という人類が  
必要とする全てが  
満たされた宇宙

どちらにも  
未知ではあるが  
膨大なエネルギーが

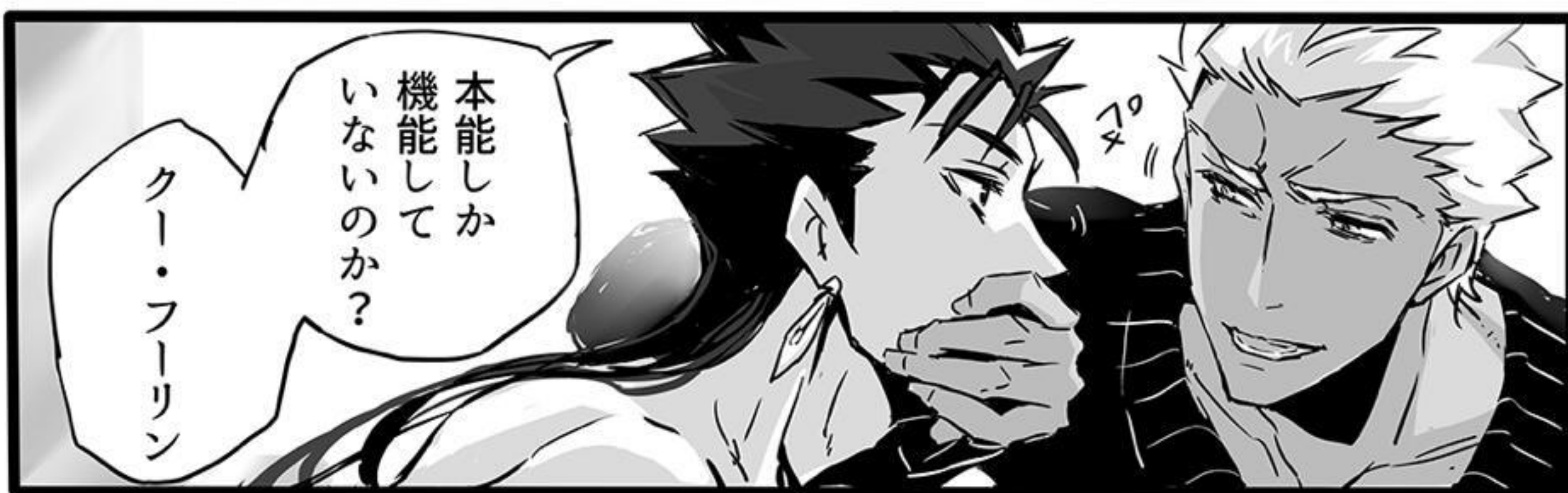
願う者の  
望むままの世界を  
構築するに至る

特定の人間の  
願いが叶う  
その為の世界が  
存在するなどと

初めは  
出来過ぎている  
話だと思って  
いた……が

聖杯と結び付けてみれば  
あながち否定も出来ない  
という面で 面白いと  
言えなくもない







何か

得るもの

得るものは

あったさ

..



俺の話  
ちやんと  
聞いてたか？



はっ  
はっ

まだ  
難しい顔  
してんのか



ん





なあ  
アーチャー

はっ  
あ



んあ!



得るモノ  
あるんだぜ?

俺はこれでも  
この場所にも  
居るお前から

私の観る  
私の望むものが  
揃った世界

あ  
あ  
お前は  
どうだ?

イイか悪いかは  
ともかくな

まるで  
当然のように  
君と過ごす  
日々の観測は  
…私には

4/10  
4/10

此処にいる  
俺から  
何かを得ちゃ  
くれねえのか？



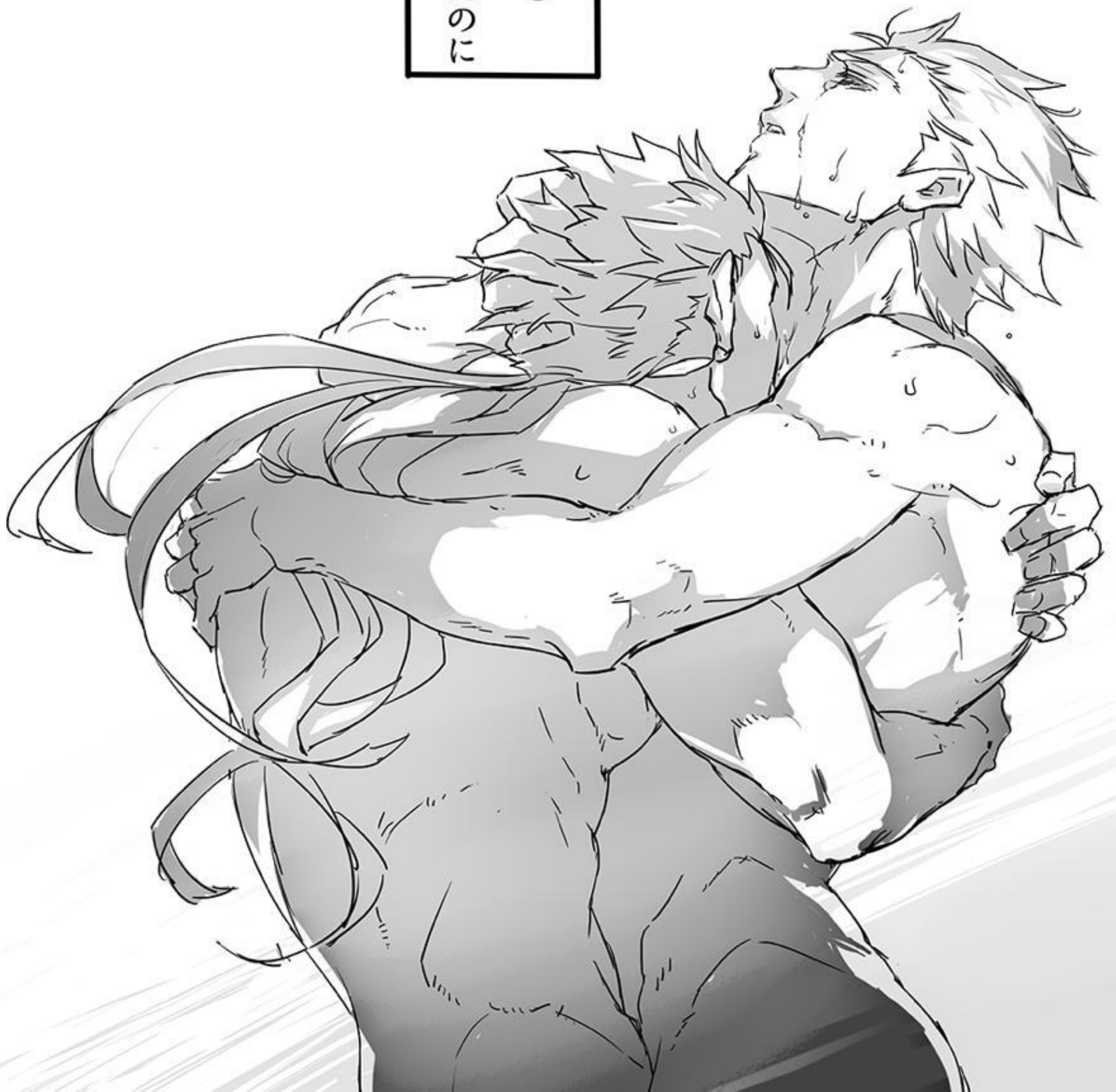
なんてな



もう  
充分過ぎるんだ  
ランサー

私はずっと繰り返す  
君といる部屋を  
失いたく  
なかったんだ

そんなものを  
観測しては  
いけなかったのに



とうの昔に  
私は  
自分の欲求に  
負けていたんだ

私は私の宇宙を  
観測し本来の姿を

一時でも  
捨てようとした

救される  
訳が


無いだろう

ああ  
解っているとも

だから

コウレタのだから

当然の結果だ



それでも  
一度観測してしまった  
宇宙を消し去る事は  
そう容易ではない

全てを失くし  
ゼロに戻すことは  
その代償も等しく  
大きいのだろう

そうやって繰り返した  
観測としては  
消し去ろうとして  
何度も何度も  
払いきれない代償を払う  
愚かな私の宇宙だ

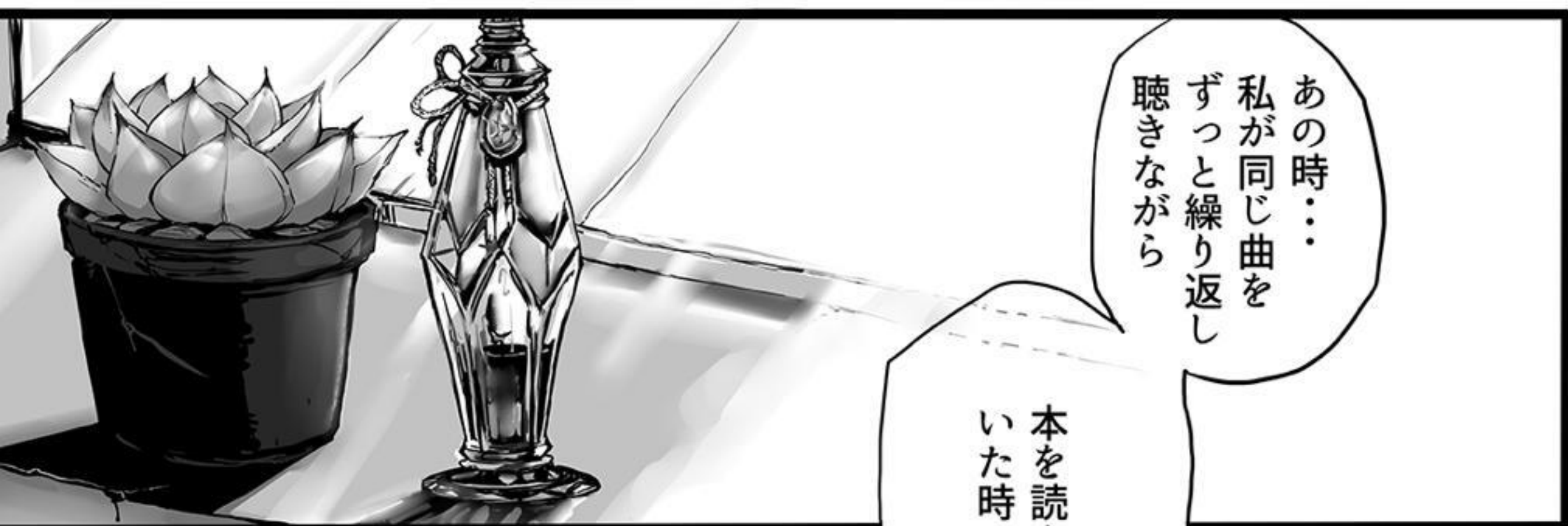
言われずとも

じきに終わる

ランサー…  
君を巻き込んで  
すまなかった

少しでも  
少しでも  
戻せるのなら…

俺は  
自分勝手だな  
今も  
昔も



あの時……  
私と同じ曲を  
ずっとと繰り返し  
聴きながら

本を読んで  
いた時



GOLDEN DROP

君は

「好きなのか？」

と  
訊いたな

あの時は  
解らなかつた

でも  
今は

好きだったんだ

と  
思う





一度

とめて  
停止して  
くれないか









観測者は

俺だけじゃ  
ないから



君の観測し続ける  
君の宇宙に

もう一度  
「私」を  
見つけてくれないか  
「クー・フリーリン」



ああ



必ず見つけると

誓う

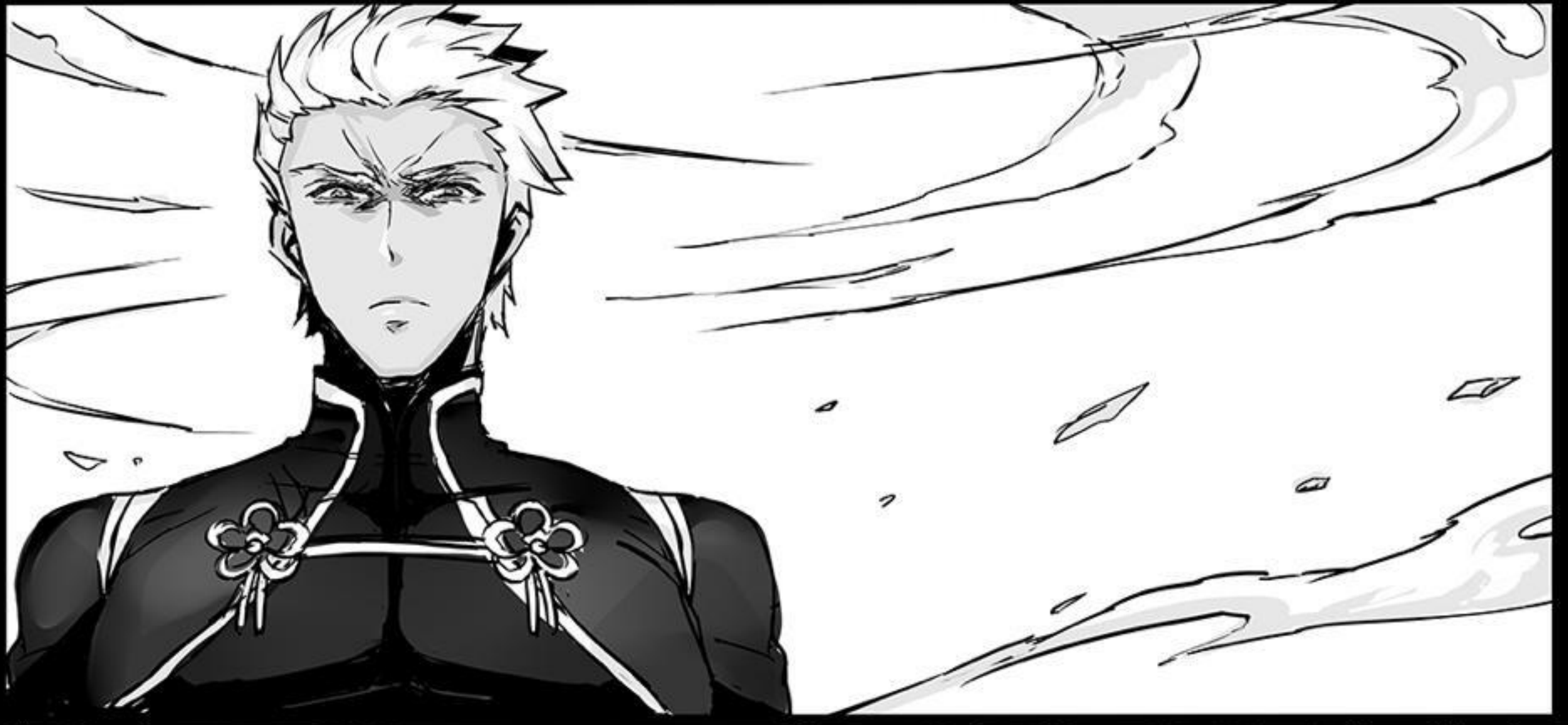
必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると

必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると

必ず見つけると

必ず見つけると

必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると必ず見つけると





観測は  
終了だ

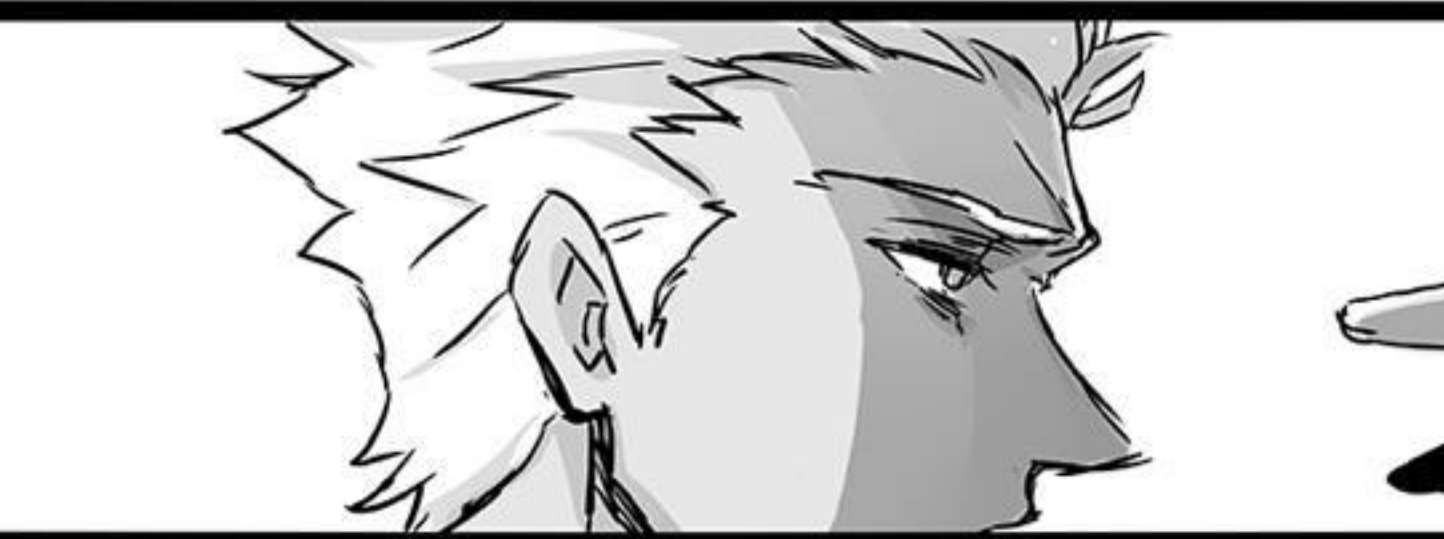


宜しい



何か  
問題は？

いつも通り  
記録は最小限





まあ  
そう焦るな



時間  
掛かっちゃまったが  
約束果たすぜ

「エミヤ」



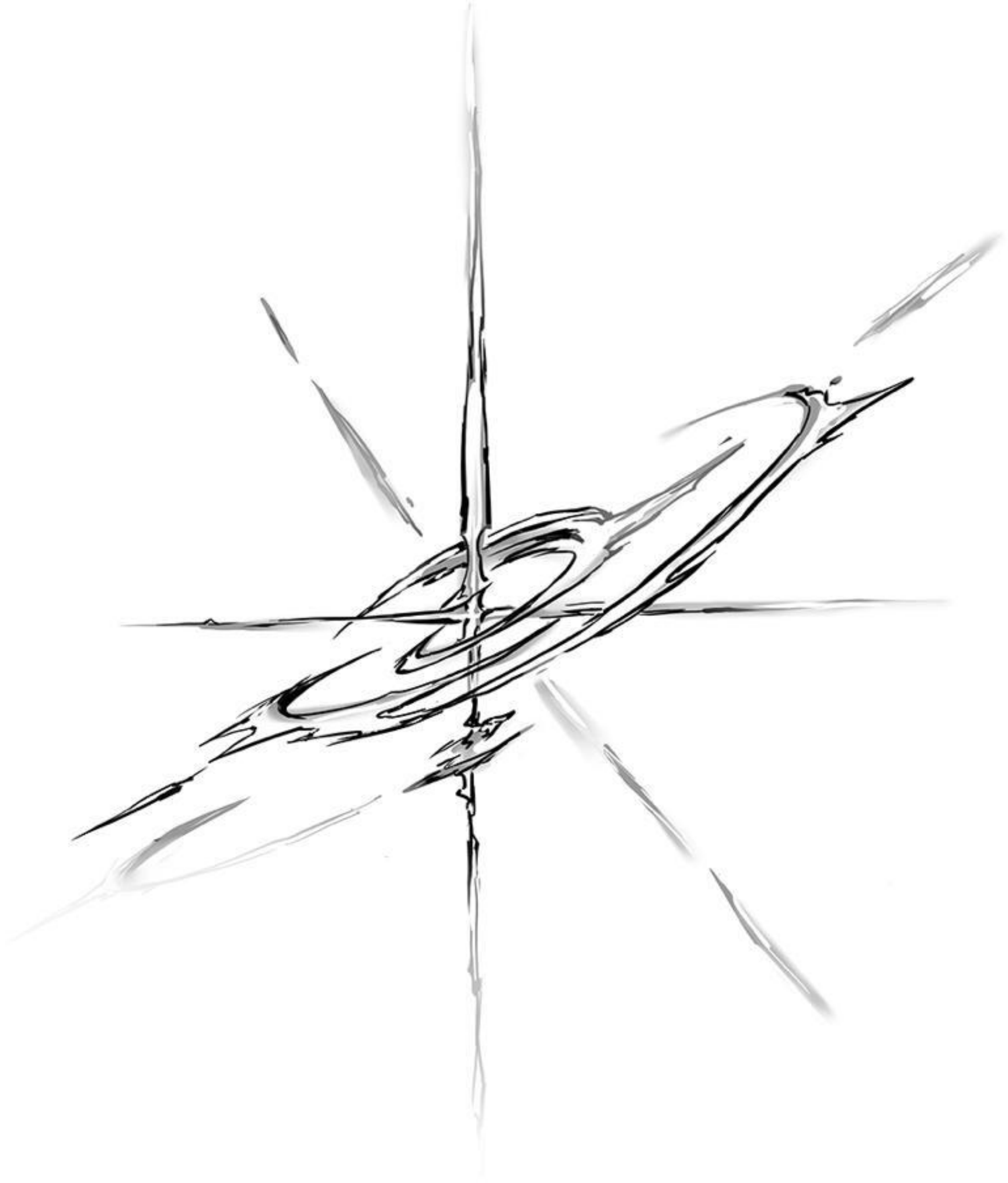
まったく  
まだ観測してる  
奴が此処に  
いんだろ  
勝手に幕引き  
してんじゃねえぞ  
たわけが



部屋あ  
戻ったら



茶あ  
淹れてくれ





観測する宇宙の哲学は  
繰り返す部屋の真ん中で  
正と負が重なる状態が存在している事を  
誰も証明することが出来ないらしい。

TODAY'S SPECIAL BLEND

よお!  
エミヤじゃねえか!  
久しぶり...



大丈夫か?





そして作るのもキヤンス

3枚にキヤンス

うーん  
ス●バと  
言うより  
魚屋だな

トール  
スペシャルブレンド  
ハーブティー  
ルーン増し増しで  
おねじやーす

ホイツプか…  
バニラアイス  
添えるか!

掛けるよ  
珈琲で  
イイか?

む…  
それなら

おっ  
美味そう  
だなおい

今朝  
焼いて  
みたんだ

甘さ  
控えたい

エミヤ  
にカク使え

君自慢の  
ルーンを込めた  
ハーブティー

イングズ  
ジエラ  
ダガズで  
淹れて欲しい

…ああ  
かしこまり  
ました

おっと  
くれぐれも

勝手に余計な  
ルーンを込めるの  
だけはしないで  
もらいたい

キヤスター  
クー・フリーリン?





本を取り上げて  
どーすんだ？  
お前さんにや  
そりやちと  
難しいぜ？

ああ？



この礼で  
作ったんだ

内緒で  
コンコン作  
ワケか？

キサマの分は  
冷蔵庫に  
入ってある...

俺も連いて？  
せーやせーや

キミは散々に  
出たなま外  
出出来ないから

見せ付けないな  
フツーに迷惑だわ  
よそでやれよそで

ところで  
槍の

おい



なあに  
テメエが読めて  
俺に読めねえわきや  
ねえだろ？

何となく初めから  
ちやんと読んで  
みようと思った  
だけだ

悪いが  
まだしばらく  
返せねえぜ

早くも！  
おまな！！



ほう？

大した  
進歩だな

いつそんな  
教養を身に着けた  
んだ？小僧





# NOVEMBER MORNING

Fate/Grand Order, Unofficial Fanbook

## Lancer×Archer

2020.02.23.sun. Shiba Nuu

発行:しばぬー屋さん 発行者:しばぬー

Twitter:@and\_shibanui pixiv:pixiv.me/and\_sbn MAIL:andshibanui@gmail.com

印刷:株式会社栄光様 ロゴデザイン:タム様(@TAMU\_0511) SPECIAL THANKS: YOU

・この本はR-18です。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。

・この本は個人的に作られた非公式ファンブックであり原作者様、出版社様、原作ゲームコンテンツとは一切関係ありません。

・転売、無断転載、複製、複写、インターネット上への掲載(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)を禁止します。

・処分する際は同人誌専門の中古書店に売却していただくか、中身が分からない状態にさせていただいた上で可燃ゴミとして廃棄してください。

この観測は  
ハッピーエンド  
ってやつか？

満足か？

エミヤ







こんな  
暇つぶしの  
世界で

律儀にバグ  
報告なんざ  
テメエらしいが  
つちやらしいが

自らが  
バグだと  
解ってた  
んなら

ただのアホだ  
テメエは

……って  
聞いちや  
いねえか



観測者は  
一人ではなく  
また二人とも  
限らない……か



ただの  
バグの  
癖に

このチツポケな  
瓶の底でこちらを  
観測し返してくる  
とはな……

割と驚かされ  
たんだけ？  
……初めはな





って！  
部屋暗っつ  
何してんの？  
また怪しい  
研究？

また  
ってなんだ  
俺がいつ怪しい  
事したって  
んだコラ



キャスニキ  
話が：



またまたー  
ダヴィンチ  
ちゃんが

カスカスだけど  
魔力リソース的な物を  
瓶に詰めてるの  
一応許可したんだ  
よねー

何かあれば報告する  
約束でね

って  
言ってた  
もんねー

ねーねー  
何作ってん  
のさー

お子様にや  
関係ねえよ

令呪を持って  
命ずるよ？



あーあー  
うるせえ！

何かの残滓だか  
魔力リソースが  
消耗した後に  
結晶化してつから

再利用出来るか  
実験中だ

コレで  
イイか？  
マスター

再利用？  
すごい！

リソースは  
多いに越した  
ことはないもんね



だがまあ  
こんなもん  
今のところ

何の役にも  
立たねえな

数日で  
結晶化したやつも  
塵に戻る

それをただ  
ひたすらに  
繰り返してる  
だけで

それ以上  
どうにも  
ならんだろう



ふーん

でも

なんか  
綺麗だね







おまけ

イメージボードと描き下ろしマンガ  
自分用に作った設定資料的なキャラデザ。ゆるゆる。



☐ November Morning ☐  
設定資料①



Pre-  
曲を聴きながら、キャストに借りた本を読み始めたばかりの頃。  
お茶を飲んだり、イヤイヤしたりの日々。金本は「アイビー」  
アキカーにとっては「何気ない11月のある日」。  
ランナーにとっては「まだ、何気ない11月のある日であり何度目の「スタート」

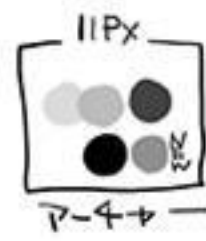


ア-チャーの服  
(大きい) ↓



SEX時 →  
前髪全おろし

だいぶ  
痩せて弱る



赤と黒の柄の  
ブランケット

November Morning  
設定資料②

エケベリア



繰り返すと巻き戻りは頻繁に。鉢は「エケベリア」。  
テープが擦れ切れる音飛び、ノイズ混じりの様な日々。弱るア-チャー  
夜か供給をしても、一向に回復はしないようだ。  
でもやはり「初めてのケース」ではないとランサーは知っている。





November Morning  
設定資料③

ハオルチア



A MILK TEA DAY. アーチャーはキャスターから本を借りて読み始めた。窓際の鉢本はいつの間にかヒビが入っている。トゲトゲがシマシマのハオルチア。突然巻に戻り、同時に異変に気付くアーチャー。がモルモスに何度も繰り返したとランサーは知っている



November Morning

設定資料 ④



A HERB TEA DAY. R4の異変についてマスターに相談した日。ランサーとしてはとにかく「何とモイイから夜街の女がいた便利アイテムをよこせ」という気持ちだったが、マスターがくれたのはただのオシャレハーブティーだった。夜街の師匠の間では「ルーンが映えるし味も美味」とちょっと有名。ランサーにとってはクリドリアのモイイ茶である。



寝起き。全裸  
昨夜のまま。

11px  
ランサー

シャツにメリ、  
着替えをし、コヒーを  
淹れた。

11px

☐ November Morning ☐

エケベリア②

設定資料⑤



A COFFEE DAY. エケベリアの金本はどぎげんなカッパ型に。  
アチャーは巻ま戻らず停止もしていない「寝ま田」だった。  
キャスターから借った本について語った日。寝て起きてコヒーを淹れ、  
またベッドに戻って。コヒーは冷めてしまって飲み切っていない。と  
ランサーだけは言っている

# キャスト / クーリン

• カフェのような花屋のような店にいる  
\* ただし技術に関係のある者しか来ない。

- アーチャーに本を貸した
- ランサーの行動を全て把握している
- 其上で傍観している
- ランサーへの助言は1度では無い
- アーチャーへの干渉は1度では無い
- 退屈を持て余している



## November Morning 設定資料⑥



2頭の白狼と共にいつもカフェにいる。工房としても使用。  
アーチャーの事は気になっている。  
ランサーの事は特に何とも思っていない。  
この11月は、どうも山も退屈だと思っている。

キャスターさんちの水出しコーヒードリッパー

「ナウシズのルー」  
全体を支えている  
(吊りしている状態)

「イスのルー」  
冷却している

ウォーターボール

「カノルー」  
6分毎に発熱する

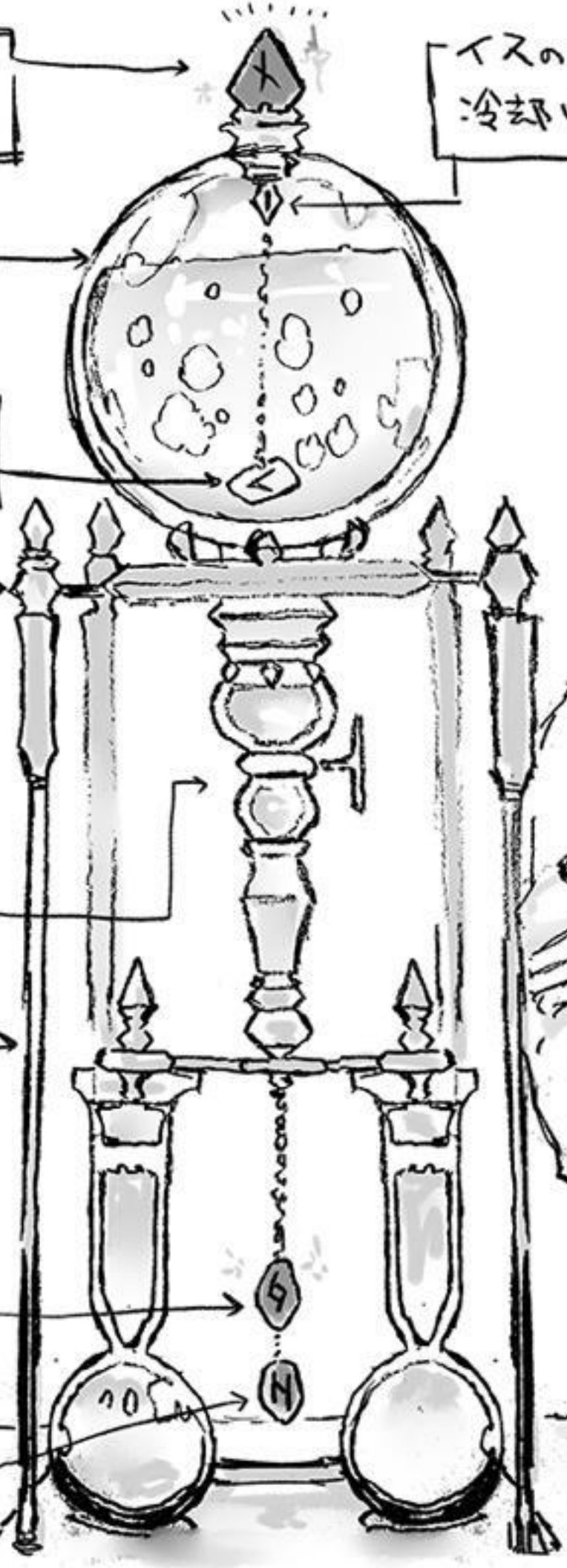
支え  
「ナウシズ」が吊りしているの  
実際は機能しない  
形だけ

レベルコック

「ニードルコック」  
ロート、フィルター  
ボトル etc

「ジュラのルー」  
一定サイクルを  
作ってる

「逆いがる」  
安全装置的な



キャスターさんちのサイフォン

← 4元ライト  
暗い時光子

「カノルー」で  
火を起す



カシヤ  
カシヤ  
混ぜる

火鼠(カリ)  
「カノルー」が「好き」で工房に住みついている。  
火を絶やさないように見守りつ  
時々火をつまみ食っている食獣。

イメージボード的なモノ。植物はそれ以上で人と使えなかつた。残念。

